

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-149354

(43)Date of publication of application : 07.06.1996

(51)Int.Cl.

H04N 5/225

(21)Application number : 06-281963

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 16.11.1994

(72)Inventor : MORIYASU YOSHITADA

ONO TETSUYA

YAMAMOTO SHUSAKU

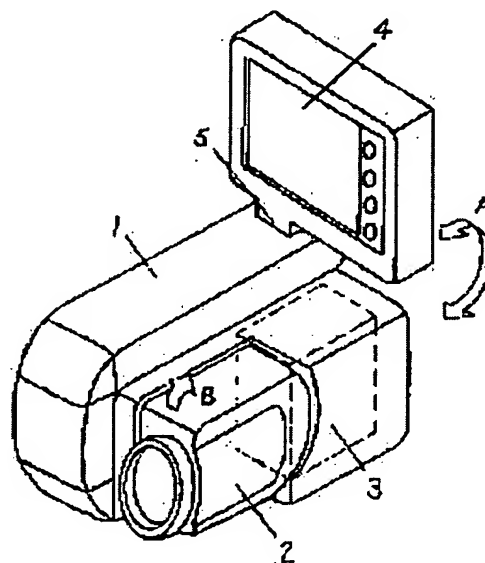
OISHI MASAYUKI

(54) VIDEO CAMERA

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a video camera having excellent stability where an image is easily confirmed without approaching an eye to a finder and the camera is easily used by one hand similarly with the posture to handle a conventional camera.

CONSTITUTION: The video camera system has a 1st case on which a VTR section 1 is arranged longitudinally and whose side face is provided with a battery 3 and a 2nd case provided with a monitor screen 4 on a rear side of the 1st case, and the 2nd case is fitted to the 1st case turnably with a hinge 5. Furthermore, a video camera 2 formed to be a 3rd case is fitted to a side face of the VTR section 1 and the front side of the battery 3 turnably with respect to the 1st case via a turning mechanism.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

14.04.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

27.08.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-149354

(43) 公開日 平成8年(1996)6月7日

(51) Int.Cl.⁹

H 0 4 N 5/225

識別記号

Z

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平6-281963

(22) 出願日 平成6年(1994)11月16日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 森安 義忠

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 大野 哲哉

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72) 発明者 山本 修作

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74) 代理人 弁理士 小鍛冶 明 (外2名)

最終頁に続く

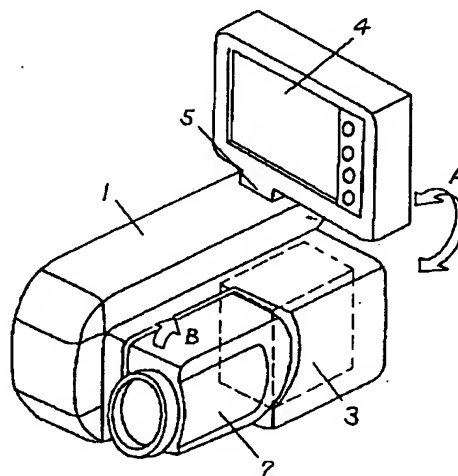
(54) 【発明の名称】 ビデオカメラ

(57) 【要約】

【目的】 本発明はファインダーに目を近づけることなく容易に画面を確認でき、加えて従来のビデオカメラと同様の姿勢で片手で使用することも容易であり、安定のよいビデオカメラの提供を目的とする。

【構成】 VTR部を縦型に配置し、その側面にバッテリーを設けた第1の筐体とこの第1の筐体の後面にモニター画面を備えた第2の筐体があり、この第2の筐体は第1の筐体にヒンジにより回動自在となるように取付けである。又、VTR部の側面かつバッテリーの前面に、第3の筐体であるビデオカメラが、第1の筐体に対し回転機構を介して回動自在に取付けた構成を有している。

- 1 VTR部
- 2 テレビカメラ
- 3 バッテリー
- 4 モニター画面
- 5 ヒンジ



【特許請求の範囲】

【請求項1】 VTR部を縦型に配置し、その側面にテレビカメラ部とバッテリーを設けた第1の筐体と、前記第1の筐体の後面にモニター画面を備えた第2の筐体があり、前記第2の筐体は前記第1の筐体にヒンジにより回動自在となるように取付けたことを特徴とするビデオカメラ。

【請求項2】 VTR部の側面に設けたテレビカメラが、VTR部とバッテリーからなる第1の筐体に対し独立した第3の筐体であり、前記第3の筐体が前記第1の筐体に回転機構を介して回動自在に取付けたことを特徴とする請求項1記載のビデオカメラ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ファインダーを備えたビデオカメラに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来ビデオカメラはファインダーに目を接近させ覗込みながら撮影する形態に構成されるか、あるいは、ファインダーから目を離す形態のものは、両手を使い本を読む時のような姿勢で使用する構成をとっていた。

【0003】以下従来の構成について説明する。ず4、5は第1の従来技術であり、VTR部1を縦型に配置し、その側面にテレビカメラを設けた第1の筐体と、この第1の筐体の側面上部に回転機構を介して回動自在に取付けた第2の筐体であるファインダー6と、前記第1の筐体の後面に脱着可能なバッテリー3を配置した構成であった。

【0004】図6、7は第2の従来技術であり、VTR部1とモニター画面4からなる第1の筐体に対して回転機構を介して回動自在に取付けたテレビカメラとバッテリー3からなる第2の筐体で構成されたものであった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら図4、5のような構成では、撮影者はファインダーに目を接近させ覗き込まなければならず、ゴルフスイング等の確認のため撮影者自身を録画する場合などは、画角内に撮影者自身が確実に入っているかを確認するのは困難であった。また記録画面を再生する場合でも同様にファインダーを覗き込まなければならず、複数の人で同時に画面を見ることは困難であった。

【0006】又、図6、7のような構成では、常時両手を使用して本体をささえなければならず、腕時計の時間を見たり、片手でバッグ等別の物を持つことは非常に困難であった。

【0007】本発明はこのような従来の課題を解消し、ファインダーに目を近づけることなく容易に画面を確認でき、加えて従来のビデオカメラと同様の姿勢で片手で使用することも容易である。又、撮影者自身を録画する

場合でも、離れた場所から容易に画面を確認しながら撮影することが可能であり三脚も使用できる。その際、ビデオカメラを設置する場所の高さに関係なく、テレビカメラ部を任意の角度に調整し撮影することを可能にする底面が比較的広く安定のよいビデオカメラを提供するものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために本発明は、VTR部を縦型に配置し、その側面にバッテリーを設けた第1の筐体とこの第1の筐体の後面にモニター画面を備えた第2の筐体があり、この第2の筐体は第1の筐体にヒンジにより回動自在となるように取付けてある。又、VTR部の側面かつバッテリーの前面に、第3の筐体であるビデオカメラが、第1の筐体に対し回転機構を介して回動自在に取付けた構成を有している。

【0009】

【作用】この構成によって、本発明はファインダーに目を近づけることなく容易に画面を確認することができる。又、撮影者自身を録画する場合でも、離れた所から容易に画面を確認しながら撮影することができる。又ビデオカメラ自体の姿勢に関係なく、テレビカメラ部を被写体に向けることができる。

【0010】

【実施例】以下、本発明の一実施例について、図面を参照しながら説明する。

【0011】図1は本実施例のビデオカメラの斜視図である。図1において、VTR部1を縦型に配置し、その側面に脱着可能なバッテリー3を設けた第1の筐体がある。第1の筐体の後面にはモニター画面4を備えた第2の筐体があり、この第2の筐体は前記第1の筐体にヒンジ5により矢印A方向に回動自在となるように取付てある。又VTR部1の側面かつバッテリー3の前面には、ビデオカメラ2を備えた第3の筐体があり、前記第2の筐体と同様に、前記第1の筐体に回転機構を介して矢印B方向に回動自在に取付けた構成である。

【0012】図2は、ビデオカメラ前面から見た第1の筐体及び第3の筐体の断面図である。第1の筐体の内部は、VTR部1とVTR部を駆動する基板7が縦型にかつ平行に配置され、第3の筐体であるビデオカメラ2と回転機構8を介して構成され、任意の角度に調整可能である。

【0013】図1のモニター画面4が対面撮影時の状態に対して図3はビデオカメラ後面から見た図で、モニター画面4は、通常の撮影時の状態である。このモニター画面4を備えた第2の筐体は、VTR部1を備えた第1の筐体にヒンジ5を介して構成され、第3の筐体と同様に任意の角度に調整可能である。又通常の撮影時には、グリップベルト11に右手を挿入してビデオカメラを保持し、目をモニター画面から離れた状態において、ズー

ムスイッチ 9 で画角を任意に調整し、録画スイッチ 10 で撮影を開始する。従って一般的なビデオカメラの撮影と同じ姿勢でありながら、目をファインダーに接近させて覗込む必要がなく、楽に片手で撮影が可能である。

【0014】

【発明の効果】 以上のように本発明は、ファインダーに目を近づけることなく容易に画面を確認することができる。又、撮影者自身を録画する場合でも離れた所から容易に画面を確認しながら撮影することができる。さらにビデオカメラ自体の姿勢に関係なくテレビカメラ部を任意の角度に調整することで、被写体に向けることができるという大きな効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の一実施例を示す前面方向から見た斜視図

【図 2】 本発明の一実施例を示す前面方向から見た断面図

【図 3】 本発明の一実施例を示す後面方向から見た斜視図

【図 4】 第 1 の従来技術のビデオカメラの前面方向から見た斜視図

【図 5】 同ビデオカメラの後面方向から見た斜視図

【図 6】 第 2 の従来技術のビデオカメラの前面方向から

05 見た斜視図

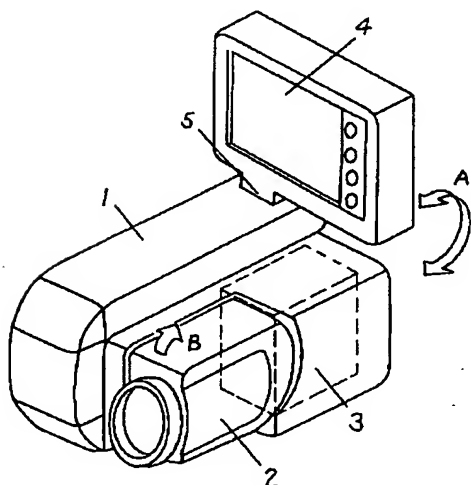
【図 7】 同ビデオカメラの後面方向から見た斜視図

【符号の説明】

- | | |
|----|-----------|
| 1 | VTR 部 |
| 2 | テレビカメラ |
| 10 | 3 バッテリー |
| 4 | モニター画面 |
| 5 | ヒンジ |
| 6 | ファインダー |
| 7 | VTR 駆動用基板 |
| 15 | 8 回転機構 |
| 9 | ズームスイッチ |
| 10 | 録画スイッチ |
| 11 | グリップベルト |

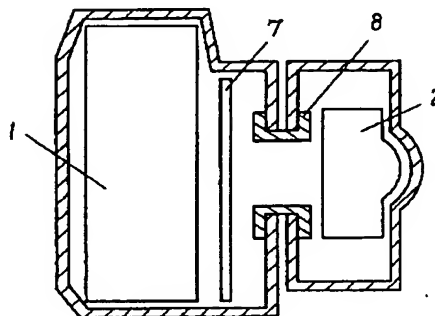
【図 1】

- | | |
|---|--------|
| 1 | VTR 部 |
| 2 | テレビカメラ |
| 3 | バッテリー |
| 4 | モニター画面 |
| 5 | ヒンジ |



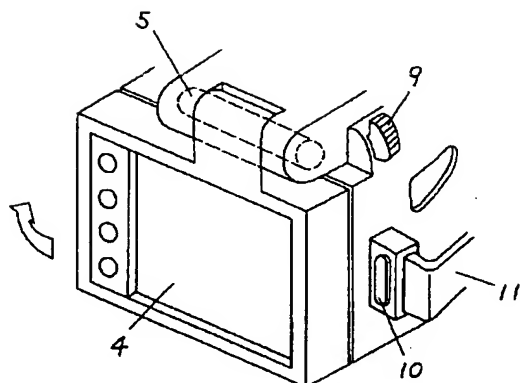
【図 2】

- | | |
|---|-----------|
| 7 | VTR 駆動用基板 |
| 8 | 回転機構 |

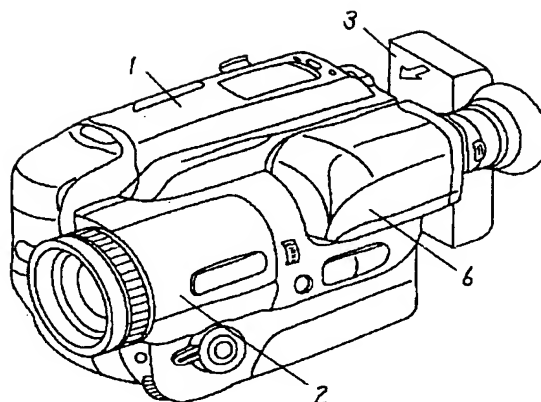


【図3】

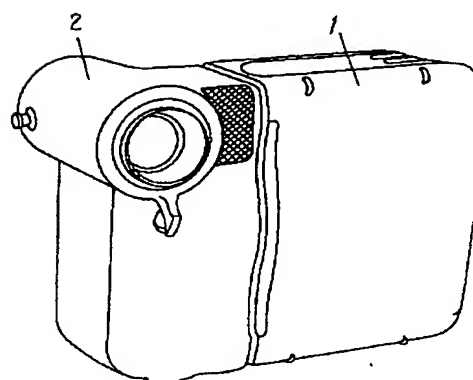
- 9 ズームスイッチ
10 録画スイッチ
11 グリップベルト



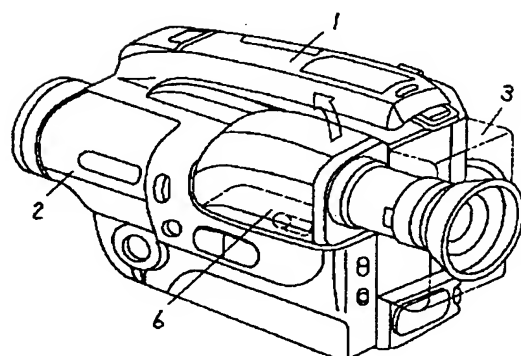
【図4】



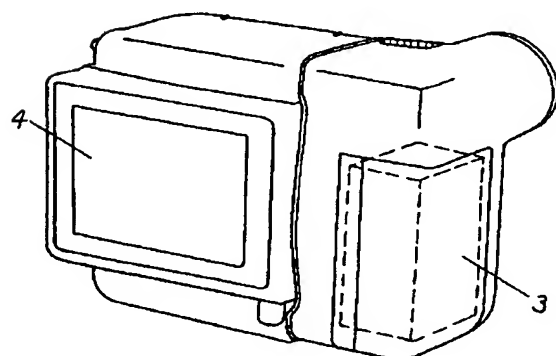
【図6】



【図5】



【図7】



フロントページの続き

(72)発明者 大石 雅之

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

05

